

公益財団法人愛知県消防協会表彰規程

(目的)

第1条 この規程は公益財団法人愛知県消防協会定款第4条第1項第6号に規定する表彰に関して必要な事項を定める。

(表彰の区分)

第2条 表彰は次の区分による。

- (1) 特別功績旗
総合的消防力に関し特に功績拔群で、他の模範である消防団に贈呈する。
 - (2) 功績旗
消防業務に関し功績拔群で、他の模範である消防団に贈呈する。
 - (3) 竿頭綬
規律訓練が優秀で、他の模範である消防団に贈呈する。
 - (4) 功労章
消防業務に関し、功労拔群で、他の模範である消防団員並びに消防職員に贈呈する。
 - (5) 精勤章
満10年以上勤続し、規律厳正、勤務精励、消防に関する技能に熟達し、他の模範である消防団員に贈呈する。
 - (6) 善行章
満5年以上勤続し、規律厳正、勤務勉励、消防に関する技能に熟達し、他の模範である消防団員に贈呈する。
 - (7) 退職感謝状
満10年以上勤続して退職した消防団員に贈呈する。
 - (8) その他の表彰
火災予防推進に、特別な尽力があった者及び団体並びに火災早期発見者、消防に対する応援協力者等を表彰する。
- 2 前項第1号から第6号までを定例表彰とし、第7号及び第8号を随時表彰とする。

(竿頭綬及び功労章の種類)

第3条 前条第1項第3号に規定する竿頭綬は次のとおりとする。

- (1) 特別竿頭綬
- (2) 竿頭綬

2 前条第1項第4号に規定する功労章は次のとおりとする。

- (1) 第一号
- (2) 第二号

(制式)

第4条 第2条第1項第1号から第6号までに規定するものの制式は、「特別功績旗等の制式」、「特別竿頭綬等の制式」、「功労章等の制式」に定めるとおりとする。

(表彰の方法)

第5条 表彰は賞状に前条の制式を添えて贈呈する。

- 2 表彰をうける消防団員又は消防職員が死亡したときは、その者の遺族に贈呈する。

(勤続年数の計算)

第6条 勤続年数は、消防団員又は消防職員に就任した月から退職又は死亡した月までとし、再び就任の場合はこれを通算する。

- 2 消防団員と消防職員の勤続年数は、これを通算することができる。

(表彰の手続)

第7条 表彰は支部長の具申により行うものとする。

- 2 具申書は様式第1のとおりとする。
- 3 第2条第2項に規定する定例表彰を具申する期日は、毎年度会長が通知する日によるものとし、その表彰基準日は、当該年度末とする。
- 4 第2条第2項に規定する随時表彰を具申する期日は、その事由発生後、速やかに提出する。

(表彰物件の再交付)

第8条 表彰により贈呈されたものを破損または亡失したときは、支部長の具申に基づき再交付することができる。

(補則)

第9条 本規程施行上、必要な事項は会長が別に定める。

附 則

この規程は、平成29年4月3日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

様式第 1

具 申 書

年 月 日

公益財団法人愛知県消防協会会長 殿

支部長

下記のは、成績優秀と認められるので公益財団法人愛知県消防協会定款第 4 条第 1 項第 6 号規定により表彰して下さるよう関係書類を添えて具申します。

記

1 団体（消防団）

表彰の種類	順位	団体名	摘要

（注）同一種類の表彰を 2 以上具申する場合は順位をつけること。

2 個人（消防団員・職員）

表彰の種類	具 申 数			摘 要
	消防団員	消防職員	計	
功労章第 1 号	名	名	名	
功労章第 2 号	名	名	名	
精勤章	名	名	名	
善行章	名	名	名	
計	名	名	名	

3 一般（随時表彰分）

区 分	具 申 数	摘 要
個 人	名	
団 体	件	
計		

様式第2

優良消防団功績調書				
表彰の種別				
消防団名	ふ り が な 消防団	団設置年月日		
		団 長 名		
団の沿革 及び組織				
功績事項				
既表彰の状況	区分	表彰の種類	表彰年月日	備考
	消防庁			
	日本消防協会			
	愛知県			
	愛知県消防協会			
	その他参考事項			

優良消防団員功績調書

表彰種別		消防団名				
順位	階級	(ふりがな) 氏名	経歴		表彰事由	
			階級	勤続年数		
		(年 月 日生)	部長以下	年 月		
			分団長及び副分団長			
			副団長			
			団長			
			計			
		(年 月 日生)	部長以下			
			分団長及び副分団長			
			副団長			
			団長			
			計			
		(年 月 日生)	部長以下			
			分団長及び副分団長			
			副団長			
			団長			
			計			
		(年 月 日生)	部長以下			
			分団長及び副分団長			
			副団長			
			団長			
			計			

- (注) 1 この調書は、「表彰種別」ごとに別紙とすること。
- 2 この表彰事由は、表彰規程、表彰選考基準（別紙）の該当条項を記号で記入すること。
(例：選考基準第3、1、(2)該当)
- 3 経歴欄の勤続年数の計算は年度末を基準として行うこと。
(月未満の端数は階級ごとに切り上げること。)
- 4 氏名に外字が含まれている場合は、欄外に大きく手書きで記載すること。

優良消防職員功績調書

表彰種別		功労章1号・2号	消防本部名			
順位	階級	(ふりがな) 氏名	経歴		表彰事由	
			階級	勤続年数		
		(年 月 日生)	司令以下	年 月		
			司令長			
			署長			
			消防長			
			計			
		(年 月 日生)	司令以下			
			司令長			
			署長			
			消防長			
			計			
		(年 月 日生)	司令以下			
			司令長			
			署長			
			消防長			
			計			
		(年 月 日生)	司令以下			
			司令長			
			署長			
			消防長			
			計			

- (注) 1 「表彰種別」(功労章1号・2号)は、何れかに○印を付すこと。
 2 表彰事由は、表彰選考基準(別紙)の該当条項を記号で記入すること。
 (例:選考基準第3、1、(5)該当)
 3 経歴欄の勤続年数の計算は年度末を基準として行うこと。
 (月未満の端数は階級ごとに切り上げること。)
 4 階級のうち、司令長で署長・消防長に就任していた期間は、署長・消防長の期間として計算すること。
 5 氏名に外字が含まれている場合は、欄外に大きく手書きで記載すること。

様式第4

退職感謝状具申調書			
氏名	ふりがな	生年月日	(満才)
住所			
最終所属		職名(階級)	
任命及び退職年月日		勤続年数	満年ヶ月
退職事由			
既表彰の有無及び受賞年月日			
その他参考事項			
備考			

様式第 5

一般表彰具申調書	
表彰種別	
氏名 (団体名・代表者名)	ふりがな (年 月 日生)
住所 (所在地)	
功績事項	
その他参考事項	

(注) 表彰種別は、次によること。

- 1 火災予防推進者
- 2 火災早期発見者
- 3 消防協力者
- 4 その他